

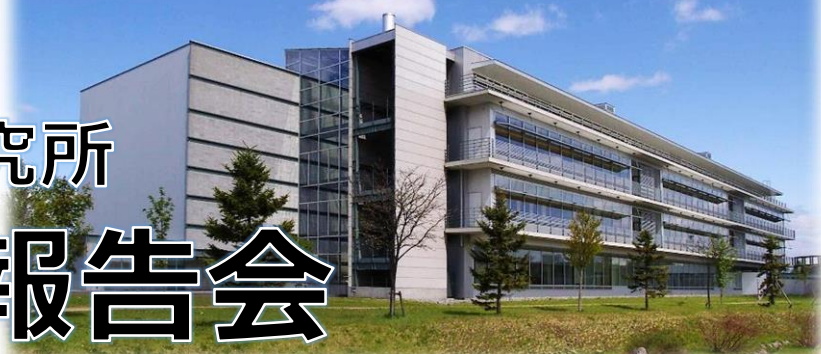
発表項目 (行事名)	<p>① 11月 6日 (金) 平成27年 北方建築総合研究所研究成果報告会 (札幌) の開催について</p> <p>② 11月19日 (木) 道総研フォーラム 「富良野圏域の分散型エネルギーの明日を考える」の開催について</p>
概要	<p>1 平成27年 北方建築総合研究所研究成果報告会 (札幌) 北方建築総合研究所では、11月6日(金)に札幌市において「平成27年 北方建築総合研究所研究成果報告会」を開催します。 本報告会では、近年の主な研究成果や現在取り組んでいる各分野の研究展開などをご紹介するほか、特別報告として、当所が基準策定等に関わっている国の住宅・建築物の省エネルギー基準義務化に向けた動向や、北海道が進める住宅施策「きた住まいる」に関して情報提供を行いますので広く周知いただきますようお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日 時：平成27年11月6日(金) 10:30～17:00 ■会 場：北海道立道民活動センター かでる2. 7 「かでるホール」 ■主 催：地方独立行政法人北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 ■開催概要：別紙1のとおり ■参加費：無料 ■対象者：建築・住宅産業関係者、市町村関係者、一般住民の方 <p>2 道総研フォーラム「富良野圏域の分散型エネルギーの明日を考える」 道総研と富良野圏域5市町村では、平成26年度より研究協力に関する協定を結び、地域の振興・活性化とエネルギー自給率の向上を目指した研究を実施しています。 本フォーラムでは、道総研の研究チームから中間報告を行うとともに、地域で分散型エネルギーの活用に取り組む方々から話題提供をいただき、富良野圏域におけるエネルギーの分散型利用推進の契機としますので広く周知いただきますようお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日 時：平成27年11月19日(木) 13:30～17:00 ■会 場：富良野市役所 1階大会議室 ■主 催：富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 ■開催概要：別紙2のとおり ■参加費：無料 ■対象者：市町村職員、エネルギー事業等地元関係者、一般住民の方

報道(取材)に 当たってのお願い	上記2件とも、多くの皆様の御参加をいただきたくご案内しますので、広く周知をしていただくとともに、当日の取材についてよろしくお願いたします。
他のクラブ との関係	※「北方建築総合研究所研究成果報告会(札幌)」については、 上川記者会及び道政記者クラブへ10月5日(月)に同時資料配付しております。 ※道総研フォーラムについては、道政記者クラブへ同時配付しております。 (道政記者クラブは(地独)北海道立総合研究機構経由で配付しています。)

担当(連絡先)	(地独)北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 企画調整部企画課(担当:清水、盛永) TEL: 0166-66-4216(直通) / FAX 0166-66-4215
---------	---



平成27年 北方建築総合研究所 研究成果報告会



第1部 研究報告

北総研が近年取り組んできた主な研究成果をご報告するとともに、現在取り組んでいる各分野の研究展開などについてご報告します。

【地域研究部の研究展開】

- 防災まちづくりに関する研究
- 良質な住宅ストック形成に関する研究
- 集落の維持再編に関する研究

【環境研究部の研究展開】

- 環境・エネルギーに関する研究
- 地域の建築生産システムに関する研究
- 建築物の維持・再生に関する研究

【構造判定部の研究展開】

- 建築物の安全性の確保に関する研究

第2部 特別報告

北総研の研究成果は様々な行政施策に活かされています。今回は、建築物の省エネルギー基準義務化に向けた動向や、昨年スタートした「きた住まいる」について、最新情報をご報告します。

○住宅・建築物の新たな省エネルギー基準の方向性と「きた住まいる」の目指す姿

講師 北方建築総合研究所 副所長 鈴木 大隆

国土交通省社会資本整備審議会
省エネルギー判断基準等小委員会委員

○「きた住まいる」の概要

講師 北海道建設部住宅局 建築指導課

本報告会は、公益社団法人日本建築士会連合会の
CPD制度認定講習会（予定）です

平成27年

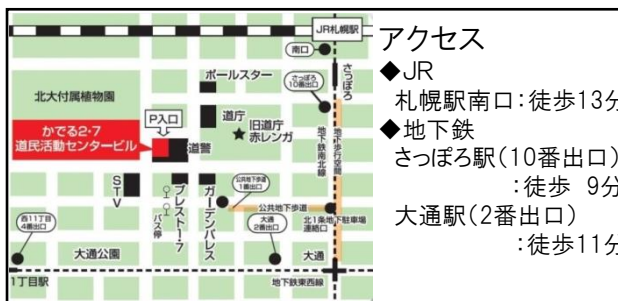
11月6日(金)

10:30~17:00

北海道立道民活動センター
かでの2.7 1階

かでのホール

(札幌市中央区北2条西7丁目)



参加費
無料
事前にお申込み
ください

お問合せ・申込み先
北方建築総合研究所
企画調整部企画課
TEL 0166-66-4218
FAX 0166-66-4215
E-mail:nrb@hro.or.jp

10:30～10:40 開会挨拶・北総研の概要 建築研究本部長 兼 北方建築総合研究所長 須田 敏則

第一部 研究報告

10:45～12:20 地域研究部の研究展開 進行 地域研究部長 松村 博文

○防災まちづくりに関する研究

北海道における地震被害想定概要と地震災害時の都市防火性能
陸前高田市における住宅再建への取り組み支援と津波防災まちづくり

主査（地域計画）	戸松 誠
研究主任	石井 旭

○良質な住宅ストック形成に関する研究

民間賃貸住宅における性能向上と性能の見える化
地域定住に向けた住替え促進

主査（住計画）	高倉 政寛
研究職員	馬場 麻衣

○集落の維持再編に関する研究

集落の維持・再編と社会基盤

研究主幹	福井 淳一
------	-------

12:20～13:20 休憩 ※ロビーにてパネル展示、技術相談を行います。

13:20～15:25 環境研究部の研究展開 進行 環境研究部長 西澤 拓哉

○環境・エネルギーに関する研究

省エネルギーを支える要素技術

研究職員	遠藤 卓
主査（指導支援）	北谷 幸恵
研究主幹	月館 司
研究主任	立松 宏一

住宅のエネルギーマネジメント
一次産業施設の省エネルギー

○地域の建築生産システムに関する研究

木造住宅の構造性能確保・向上技術

主査（建築システム）	植松 武是
------------	-------

○建築物の維持・再生に関する研究

道営住宅のストックマネジメントに向けた基礎情報の構築と
建設混合廃棄物のリサイクル推進

研究主幹	廣田 誠一
------	-------

15:25～15:45 構造判定部の研究展開 進行 構造判定部長 倉増 英樹

○建築物の安全性の確保に関する研究

構造設計技術、建築確認申請における構造審査等の円滑化

主査（判定第一）	本間 裕二
----------	-------

第二部 特別報告

15:50～16:20 住宅・建築物の新法省エネルギー基準の方向性と
「きた住まいる」の目指す姿 講師 北方建築総合研究所 副所長 鈴木 大隆

16:20～16:50 「きた住まいる」の概要 講師 北海道建設部住宅局 建築指導課

17:00 閉会

参加申込書 ……申込締切 10月23日（金）

参加申込みにつきましては、本申込書に必要事項を記載して、FAXまたはメールで送信してください。
当日受付も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前の申し込みをお願いいたします。

送信先 FAXの場合 0166-66-4215 メールの場合 nrb@hro.or.jp

貴社名・御所属名

ご住所

代表者の連絡先

電話番号() メールアドレス()

お名前

代表者() 2人目() 3人目()

4人目() 5人目() 6人目()



道総研フォーラム

富良野圏域の 分散型エネルギーの 明日を考える

2015.11.19 [木]

13:30～17:00 / 富良野市役所1階大会議室

参加費無料:事前にお申し込みください(定員100名)

北海道立総合研究機構(道総研)と富良野圏域5市町村では、平成26年度より研究協力に関する協定を結び、地域の振興・活性化とエネルギー自給率の向上を目指した研究を実施しています。本フォーラムでは、道総研の研究チームから中間報告を行うとともに、地域で分散型エネルギーの活用に取り組む方々から話題提供をいただきます。

プログラム

■ 講演「50年後の資源・エネルギー・北海道を考える」

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事長 丹保憲仁

■ 道総研戦略研究「地域とエネルギー」チームからの報告

チームリーダー 北方建築総合研究所 副所長 鈴木大隆
+ 建築、農業、森林、産業技術、環境・地質の各研究本部

■ 地域の取り組み紹介

ふらの環境エネルギー事業化検討協議会
(株)有我工業所
南富良野町森林組合

■ 討論

●主催:富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村、地方独立行政法人北海道立総合研究機構[建築研究本部(北方建築総合研究所)、農業研究本部(中央農業試験場・十勝農業試験場・根釧農業試験場)、森林研究本部(林業試験場・林産試験場)、産業技術研究本部(工業試験場)、環境・地質研究本部(環境科学研究センター・地質研究所)]、水産研究本部(中央水産試験場・釧路水産試験場) ●後援:北海道上川総合振興局、JAふらの、富良野地区森林組合、南富良野町森林組合、北海道電力(株)富良野営業所、富良野エネルギーサービス(株)、ふらの市民環境会議、富良野地域小水力発電普及協議会、占冠村木質バイオマス生産組合、占冠地区小水力発電可能性調査協議会、スローフードしむかつぷ

参加申込書 FAX:0166-66-4215

参加ご希望の方は、必要事項を記入の上、FAX いただくか、同じ内容をメールでお知らせください。

お名前	ご住所(市町村まで)	会社名・所属	連絡先電話番号

道総研 戦略研究（平成26～30年度）

地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築

実施機関：（地独）北海道立総合研究機構

建築研究本部、農業研究本部、森林研究本部、
産業技術研究本部、環境・地質研究本部、水産研究本部

背景

- 北海道は再生可能エネルギー・廃棄物等の利用可能性が高く、ローカルエネルギーを主軸とした地域再生の可能性が高い。
- 持続可能な地域社会を築くため、地域定住と新たな雇用も生み出す地域産業の創出が必要。

目的

再生可能エネルギーなど、広く地域に分散するエネルギー資源を有効に利活用することにより、地域の振興・活性化とエネルギー自給率の向上を目指す。

研究概要

※ キーワード：「さがす」「つくる・ためる・つかう」「しめす」

地域が有するエネルギー資源を詳細に調査・分析し、有効に利活用するための要素技術開発を行って、その地域に最適なエネルギー利用モデルの構築と提案を行う。

さがす（地域で発見する）

1. 再生可能エネルギー等の賦存量・利用可能量の推定手法の開発
2. エネルギー需要量の推定手法の開発
3. エネルギー分散型利用を支援する統合型GISの開発

1.対象とする再生エネルギー等

- ・バイオマス
- ・バイオガス、温泉付随ガス
- ・地中熱、温泉熱
- ・太陽熱
- ・雪氷、冷熱、小水力
- ・一般廃棄物系資源 等

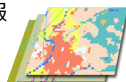


2.対象とする施設等（需要側）

- ・産業施設（農業、林業、水産業）
- ・産業機械（同上）
- ・民生用建築物（戸建・集合住宅）
- ・業務用建築物（事務所、学校等）

3.支援ツール：統合型GISシステム

- ・各種エネルギー賦存量・利用可能量
- ・エネルギーの収集運送情報
- ・需要側エネルギー量
- ・需給バランス評価 など



H26 H30

1.調査・推定手法開発

2.調査・推定手法開発

基礎検討

3.統合GISシステム構築

地域との密接な連携

共通基盤技術開発

地域の課題に基づく
新たな技術開発

省エネ技術開発

各施設での総合化

フィジビリティスタディ

分散型利用モデルの提案

つくる・ためる・つかう

4. 分散型エネルギーの供給および利活用技術の開発

■ エネルギー資源化、高効率利活用技術開発



①木質系・農産系バイオマス ②バイオガス、温泉付随ガス ③高効率燃焼技術

■ 各種施設の省エネルギー化技術開発



しめす（成果）

5. 分散型 エネルギー需給モデルの構築

- モデル地域や施設においてFSを実施
- エネルギーの需給バランスを考慮した利用モデルを提案

研究終了後の展開：自治体のエネルギービジョン、地域ビジネス展開の支援、実証化フェーズ